

# 平成24年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成24年9月20日

施設名	青少年センター	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

## 1. 施設の概要

施設所在地	高知県香南市野市町西野303-1
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営に関すること</li> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・設備の維持管理に関すること</li> <li>・主催事業及び受入事業の企画運営に関すること</li> </ul> <p>&lt;平成23年度主催事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中1学級づくり合宿</li> <li>・Let's親子キャンプ</li> <li>・マンガ教室</li> <li>・高知の技術力(製造業)</li> <li>・オフィス訪問</li> <li>・おいしい牛乳ができるまで</li> <li>・のいちこども村(低学年・高学年)</li> <li>・ちびっ子スローライフ体験</li> <li>・クラスまるごとお出かけ授業(昔のくらし編、化石編)</li> <li>・ボランティア養成講座</li> <li>・夏休み宿題教室</li> <li>・ペットボトルロケットを発射しよう</li> <li>・模型飛行機を飛ばそう</li> <li>・お正月を作ろう♪</li> <li>・ロケット・宇宙ステーションを知ろう</li> <li>・星・星座を観察しよう</li> <li>・化石探検隊(生痕化石編、恐竜時代の化石編)</li> <li>・ジオパーク探検隊～地球の息吹を聞こう～</li> <li>・専門体力測定</li> <li>・国体・強化指定選手のメディカルチェック</li> <li>・一般愛好者体力測定</li> <li>・ジュニア選手育成事業</li> <li>・わいわいチャレンジ</li> <li>・トレーニング研修講座</li> </ul>

<p style="text-align: center;">施設内容</p>	<p>「青少年の健全な育成」と「スポーツの振興」の2つの役割を担っているが、これらのためにはとりわけ、義務教育段階などにある児童。生徒の心と体の伴った成長に資する取り組みが重要であることから、学校現場をはじめとした関係団体などと連携した社会教育や体力・競技力の向上などに向けた事業を推進している。</p> <p>構造: 本館 鉄筋コンクリート 3階建 延べ2,214.68㎡      宿泊棟 鉄筋コンクリート3階建 延べ1,416.72 ㎡      体育館 鉄筋コンクリート・小屋組木及び鉄骨造2階建 延べ9,330.81 ㎡</p> <p>施設概要:</p> <p>本館 青少年ホール(定員200名)      会議室(定員30名×3室)      視聴覚室(定員42名)      調理室(定員24名)</p> <p>別館 食堂(定員174名)      会議室 和室(定員20名×2室)      宿泊棟(定員151名)      浴室(大浴室・小浴室)</p> <p>野外炊飯棟 定員80名      補助グラウンド      ソフトボール球場</p> <p>体育館 大アリーナ      小アリーナ      トレーニング室      医科学測定室      会議室</p> <p>陸上競技場兼、サッカー場</p>
<p style="text-align: center;">職員体制</p>	<p>職員: 所長 1名 次長1名、事業課長1名、チーフ1名、主任2名、主幹1名、主任社会教育主事1名、社会教育主事2名、非常勤職員1名      合計: 11名</p> <p>現業部門は土佐青少年育成会に委託(12名)</p>

## 2. 利用実績

### (1) 宿泊者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	8,976	7,913	8,220	8,132	7,856	8,219

### (2) 利用団体数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
団体数	1,611	1,707	1,754	1,773	1,740	1,717

### (3) 利用者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平均
人数	111,354	125,796	124,793	123,363	117,666	120,594

## 3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会、理科分野を中心とした主催事業を新たに6プログラム開発し、学校内では対応が困難な実地体験の機会を提供し、学校支援に努めている。</li> <li>○中一学級づくり合宿をはじめとした学校との連携が必要な事業については、学校教諭との事前打ち合わせや研修後の情報交換、アンケートの実施などを通じ、学校側と密接に連携した取り組みを行っている。</li> <li>○県内小学生を中心として、スポーツに親しんでもらうきっかけづくりからジュニア選手の育成まで幅広い事業展開を行うことにより、県内の児童・生徒の体力・競技力の向上の取り組みを行っている。</li> <li>○地域社会との連携・融合を図るために、地域ボランティアによる自然学習プログラムを編成、実施した。また、地域企業や産業団体の協力をいただき、研修や施設見学などを実施した。</li> <li>○施設のPRを行うためのパンフレット及び事業報告書の冊子を県内全小中高等学校等に配布するとともに、主催事業チラシを作成して、高知市以東の全児童に配布した。また、新規開発事業の実施にあたり、近隣市町村校長会にて積極的なPRを行った。</li> </ul>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援児(発達障害)対応研修や外部講師を招聘した所内研修など施設自らがテーマを設けた企画研修を行うことで、職員の資質・指導力の向上を図っている。</li> <li>○地震や津波に対する防災マニュアルの見直しを行ったうえで、緊急時の避難経路図の整備や火災・地震避難訓練を実施した。</li> <li>○高知市から安芸市までの小学校教員全員や施設利用者にアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めている。</li> <li>○施設の予約方法や接遇等、施設サービスについて定期的に確認することにより、利用者に対する対応の統一化を図っている。</li> </ul>
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場環境づくりについて、毎朝打ち合わせを行い、平均で月1回程度、所長を含めた全員参加の所内会を実施するようにし、職員間の更なる協力体制及び意思疎通を図った。</li> <li>○施設内を定期的に巡回し、必要な修繕は可能な限り職員が行うなど経費削減と迅速な対応に努めている。</li> <li>○南海地震対策として、書棚やロッカー等の転倒防止対策を行うとともに耐震診断を実施した。</li> <li>○年齢別・男女別の人数内訳や利用形態等の利用者情報を入力することにより、関係機関に提出する複数の書類が作成できるように表計算ソフトを活用した業務の効率化を図っている。</li> </ul>
④利用実績	<p>○平成22年度と比較して、利用者数は5,697人の減少(▲4.8%)、利用団体数は33団体減少(▲1.8%)したが、全体に占める小中学生の割合は増加している。 (平成22年度44.6%→平成23年度45.1%)</p>
⑤収支の状況	<p>○体育館利用者の増加により、平成22年度と比較して、使用料収入は223千円の増収となった。</p>

<p>総合評価</p>	<p>A</p>	<p>○平成22年度開発の2プログラムの継続に加え、平成23年度に6つのプログラムを開発し、学校の悩みや課題を解決するようなサポート事業を重点的に行い、事後のフォローアップも怠っていない。</p> <p>○中一ギャップについて、研修前に学校訪問し密に打ち合わせをして、研修目的や利用者ニーズの把握に努めている。また、学校でも継続して取り組んでもらえる効果的なプログラム内容づくりを心がけている。</p> <p>○毎朝の職員打ち合わせや、月1回程度の所長を含めた全員参加の所内会を実施することにより、職員間の更なる協力体制及び意思疎通を図っている。</p> <p>○職員の資質向上を図るため、外部研修への職員派遣はもとより、外部講師を招聘した研修会を開催するなど、絶えず新しい視点で、施設のレベルアップに取り組んでいる。</p> <p>○今後、更なる向上を目指して、以下の取組みを期待する。</p> <p>①本県の中心部に近いという立地環境や体育施設の充実といった施設の特色を活かして、新たなプログラム開発など引き続き積極的な事業展開を行うこと。</p> <p>②自然体験学習のみならず、いじめ・不登校対策や校外学習支援など、本来の教育課題の解決に向けた中心的な役割を担っていくこと。</p> <p>③利用者の拡大・サービス向上の視点から、仕様の古さ(ベッド・風呂等)の解消が不可欠である。耐震診断結果を考慮に入れ、施設の改築又は耐震化の早期実施を望む。</p> <p>④職員研修では、利用者の多様なニーズに対応できる人材を育成するために、幅広い視点での学習の機会を設けることを検討すること。</p>
-------------	----------	---